

もみじ

—広島山岳・スポーツクライミング連盟会報—



一般社団法人 広島県山岳・スポーツクライミング連盟

〒733-0011 広島市西区横川町 2 丁目 4-17

電話・FAX (082) 296-5597

E-Mail: hgakuren@lime.ocn.ne.jp

URL: <http://hiroshima-gakuren.or.jp>

郵便振替口座 01380-6-37958

題字デザイン 今村みずほ

編集 西部伸也

本号内容

1. 登山教室(第6回)報告
2. 国体報告
3. 中国地区自然保護研修会報告
4. 岳連短信

1. 登山教室報告

第6回2年生 9/7(金)~9(日)

登山形態: テント泊山行

山城: 瓶ヶ森、石鎚山

人数: 9名(スタッフ含)

今回の2年生は石鎚で岩稜歩きの実践の予定でした。しかし秋雨前線が停滞し2日間とも雨となり岩稜へは出ずにエスケープしました。今期の2年生は雨の中を歩くことがなかったので、良い経験ができたと思います。(指導部 森本 寛)

『9月山行を終えて』(登山教室2年 新宮原 正美)

今回、2日間とも雨に祟られた。雨中の歩荷訓練だと思にしても残念だ。どうも我々は岩稜から嫌われているらしい。しかし石鎚の東稜をネットで見ると、これを雨中、登稜するのは危険で回避したのはやむを得ないことだと思う。

ところで今回、私としてはこのところ続いた熱中症の症状が出ず、ほっとしている面もある。暑くなかったというだけでなく、仮眠を、しっかり平たいところで取れたことも効果があったのだろう。

今回の反省点

カップの中だけでなく、靴の中までも水が浸みたこと。このカップはゴア素材でもう5年近く愛用してき

た。使用の都度、しっかり乾かしスプレーをかけた後、使用してきたものだが、生地と生地の接合面の裏に貼られたシールがあちこちで剥げかかっており、今回で使用を諦めることにした。

そしてザックの重さ。せいぜい15kg程度なのに。初日は大丈夫なのだが2日目の午後になるとザックのショルダー部分が肩に堪えるようになってきた。疲れが溜まってきたのか?自分の小柄な体軀に合わないのか?しかし、これももう3年以上使用してきた。2日目ぐらいになると肩に堪える。ショルダーが細すぎるわけでもないだろうに。もう少し、使い回していくしかないのか。

今回、勉強できたこと

食事用水、行動用水を岩を走る自然流水から集めたのだが、これには濁りがあった。少し場所を変えた沢水はほとんど透明できれいな水だった。場所の違いでこのような差があることを実感できたことは良かった。これもやってみないと分からないことだ。



(写真提供 松本 正和)

第 6 回 1 年生 9/16(日)

登山形態：読図講習

山城：窓ヶ山～向山

人数：14 名（スタッフ含）

今回の 1 年生は読図講習で窓ヶ山、向山に行ってきました。募集時点では江田島を予定していたのですが、被災状況を考慮して見晴らしのよい窓ヶ山に変更しました。見晴らしを期待して現地につきましたが、午前中はガスが濃く思うようにポイントが取れませんでした。しかし午後からはガスが晴れてクロスベアリング法の実習も行いう事ができました。

(指導部 森本 覚)

「感想文」 (登山教室 1 年 清木 初男)

今回の山行は窓ヶ山・向山だった。山城は市街地に近く、600～700m 程度の山なのでとても身近に感じられた。クライミングで訪れる登山者もいると聞いていたので興味があつた。

さて、山行当日。天候は曇で強い日差しを受けることなく歩くことができた。夏の山行での大量の水分を用意するということから解放され、ザックが軽く快適だった。日帰り山行ということもあるが、ザックを軽くすることの大切さを改めて感じた。

コースは、急な登り、見晴らしの良い尾根、急な下り、谷、藪漕ぎ等とても変化に富んだ楽しいものであつた。途中、谷筋を急登しキレットへ登っていく行程が心に残った。左右の尾根を横目で見ながら、谷を真っ直ぐに登るという経験は今までになかったように思う。そんな場所が登山道ということも珍しいのではなかろうか。急登を終えると目の前に大きな岩。少し前に通ったばかりのキレットに再び出会った。キレットに急ぐ登山者が利用するという話があつた。確かに、そう。面白かった。

今回の講習のテーマは、「読図しながら歩く！」だった。見晴らしの良いところでクロスベアリング法の講習があつた。動かない目標物を利用してコンパスで地図上に線を引き、現在地の確認をする方法で興味深かった。周りの目標物が見えないと利用できないという話だったが、登山の知識が一つ増えて嬉しかった。今後、機会があれば登山の楽しみとしてもやってみたいと思う。

講習を受けながら久しぶりに広島市を見下ろした。ビッグアーチを探したが見当たらない。「あの山の向こう」という声が聞こえてきた。地図をよく見るとスタジアムがあつた。確かに手前に小さな山がある。地図通りだった。

山行を終えて、地図読みで、現在地・登山道の選択・高さや山容を意識することの大切さが良く分かった。また、地図が正確に読めていると嬉しいし自信にもなると思った。

次回は再びテント泊である。計画係ということで不安もあるが、今までの記録を参考にし、早目に準備しようと思う。



(写真提供 森本 覚)

2. 国体報告

10 月 5 日(金)～7 日(日)に福井県池田町の特設会場(池田小学校・池田中学校体育館)にて第 73 回国民体育大会が開催され、本県は下記の陣容で臨みましたが、残念ながら全種別・種目とも 8 位以内の入賞はありませんでした。来年以降にまた期待します。

選手・監督

【成年男子】監督：錦織宏美(中国電力) 選手：中野稔(CERO)・錦織瀬奈(県立広島大学)

【少年男子】監督：延近昌彦(広島化成) 選手：千原悠(安芸府中高 2 年)・内田輝(呉港高 2 年)

【少年女子】監督：大島修子(広島県山岳 S C 連盟) 選手：岡崎遥(広島国際学院高 2 年)・石井杏奈(大門中 3 年)

成績 () 内は個人順位

【成年男子】〈46 県・92 選手中〉

リード 1 1 位 (中野 17 位・錦織 20 位)

ボルダリング 2 4 位 (中野 27 位・錦織 48 位)

【少年男子】〈20 県・40 選手中〉

リード 1 6 位 (千原 22 位・内田 35 位)

ボルダリング 2 0 位 (千原 29 位・内田 40 位)

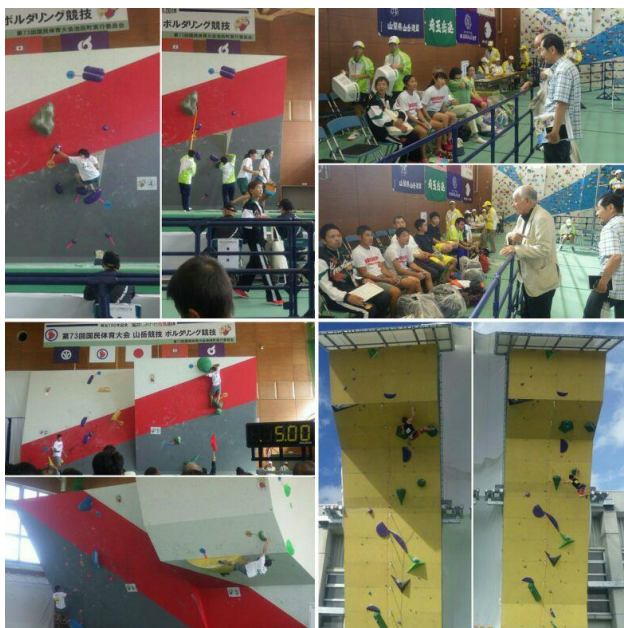
【少年女子】〈18 県・36 選手中〉

リード 1 5 位 (岡崎 21 位・石井 36 位)

ボルダリング 1 3 位 (岡崎 18 位・石井 33 位)



大会会場と 10/5 広島県選手競技の様子



10/6 競技の様子。山田会長&豊田理事長も応援に駆けつける

【参考】過去の国体山岳競技 広島県成績

(種目がリードとボルダリングに変更となった 2008 大分大会以降。個人順位の「○/○」は「予選/決勝」)

2017 年・第 72 回 (愛媛)

成年男子 リード 16 位 (中野 1 位・錦織 44 位)

ボルダ 15 位 (中野 12 位・錦織 51 位)

成年女子 リード 10 位 (山下 23 位・錦織 15 位)

ボルダ 11 位 (山下 23 位・錦織 12 位)

少年男子 リード 10 位 (香川 20 位・内田 21 位)

ボルダ 20 位 (香川 39 位・内田 40 位)

2016 年・第 71 回 (岩手)

成年男子 リード 7 位 (中野 7/7 位・斎藤 34/18 位)

ボルダ 15 位 (中野 12 位・斎藤 51 位)

少年女子 リード 7 位 (錦織 8/5 位・山口 20/15 位)

ボルダ 7 位 (錦織 5/5 位・山口 16/15 位)

2015 年・第 70 回 (和歌山)

成年男子 リード 10 位 (中野 9 位・斎藤 60 位)

ボルダ 8 位 (中野 8/15 位・斎藤 3/16 位)

少年男子 リード 13 位 (松崎 16 位・香川 24 位)

ボルダ 16 位 (松崎 19 位・香川 34 位)

少年女子 リード 5 位 (山下 12/14 位・錦織 1/3 位)

ボルダ 6 位 (山下 20/14 位・錦織 6/7 位)

2014 年・第 69 回 (長崎)

成年男子 リード 12 位 (中野 1 位・斎藤 49 位)

ボルダ 5 位 (中野 8/6 位・斎藤 9/14 位)

少年女子 リード 6 位 (山下 12/11 位・錦織 1/8 位)

ボルダ 8 位 (山下 10/15 位・錦織 6/11 位)

2013 年・第 68 回 (東京)

成年男子 リード 15 位 (樫木 44 位・斎藤 23 位)

ボルダ 33 位 (樫木 70 位・斎藤 49 位)

成年女子 リード 10 位 (武田 18 位・池田 18 位)

ボルダ 13 位 (武田 23 位・池田 19 位)

2012 年・第 67 回 (岐阜)

成年男子 リード 10 位 (藤沢 35 位・中野 1 位)

ボルダ 16 位 (藤沢 40 位・中野 8 位)

少年女子 リード 13 位 (大本 31 位・山下 18 位)

ボルダ 14 位 (大本 34 位・山下 18 位)

2011 年・第 66 回 (山口)

成年男子 リード 14 位 (藤沢 28 位・中野 30 位)

ボルダ 5 位 (藤沢 28/12 位・中野 7/13 位)

成年女子 リード 4 位 (池田 4/3 位・武田 8/12 位)
ボルダ 8 位 (池田 2/12 位・武田 27/16 位)

2010 年・第 65 回 (千葉)

成年男子 リード 10 位 (藤沢 18 位・中野 27 位)
ボルダ 9 位 (藤沢 17 位・中野 14 位)

2009 年・第 64 回 (新潟)

成年男子 リード 13 位 (藤沢 30 位・中野 30 位)
ボルダ 3 位 (藤沢 20/7 位・中野 13/5 位)

2008 年・第 63 回 (大分)

成年男子 リード 20 位 (中村 49 位・中野 36 位)
ボルダ 29 位 (中村 79 位・中野 26 位)

3. 中国地区自然保護研修会報告

2018 年度「中国五県合同自然保護研修会」に参加して
(普及部 小田 里子)

【期日】2018 年 9 月 22 日 (土) ～23 日 (日)

【会場】備前市旧閑谷学校、和気美しの森。城跡 (太鼓丸)、赤磐市熊山

【主催】岡山県山岳・スポーツクライミング連盟

【目的】中国五県の地域における自然保護活動に関する情報交換を行い、山岳自然保護に対する認識を再確認する。フィールド研修登山は岡山県南東部最高峰の熊山 (507m) に登り、奈良時代の山岳文化にふれる。

【参加者】山口県 1 名、鳥取県 3 名、岡山県 23 名、広島県 6 名 (山田雅昭、豊田和司、宇山茂之、福永やす子、勝村博己、小田里子) 計 33 名

【一日目】9/22 (土)

13:00～ 閑谷学校駐車場集合 開会式

13:30～15:30 閑谷学校見学、講堂論語講義

説明解説は備前ハイキングクラブメンバーでもある解説員でされた。

閑谷学校は、1670 年備前藩主池田光正が「人づくり、国づくりのためには孔子の教えの儒学に学ぶ事が大切」と庶民の子供たちが学ぶ場として、岩盤を削り地震に強い敷地に、雨に強い備前焼の瓦、腐食対策として垂木、天井、柱、床には漆が塗られ、石瓶は切込みはぎ式と堅固で壮麗な造りにされている。

講堂では、声をそろえて論語を朗読した。

情報交換 和気美しの森ビジターセンターにて
テーマ; 「山の弁当」、「オーバーユース」について

我々広島県は駅弁との共同開発の「山のおべんとう」の紹介と自然保護基金として 1% の売り上げを頂いて水質検査キット購入に充てている事を紹介した。

岡山県では「ラーメンの汁廃棄について」の取り組みを紹介された。

鳥取県では「オーバーユース」対策には大山南壁に椰子マットを設置しての植生の取り組みと、夏道六合へのトイレブース設置の取り組みが発表された。



懇親会はキャンプファイヤーで歌が盛り上がり、その後バンガロー囲炉裏部屋で歓談、親交を深めた。



【二日目】9/23 (日)

6:30～ 朝の散策 城跡太鼓丸へ往復

往復 30 分ではあるが、堀切、石門、軍用石、土塁も見られ、眼下には「田土の棚田」が見られ、雲海も眺められた。

朝の味噌汁には、会員が早朝に採って来たキノコが入っていて、希望者は再度キノコ採りに案内してもらった。

9:15～ 熊山登山

4 合目駐車場から登山開始。林道山頂駐車場で、弁当とアイスクリームが配られた。熊山山頂では、理事長でもある岡山市文化財課職員から熊山遺跡の説明がされた。

13:00～ 4 合目林道広場で解散式が行われ、次年度は、山口県が受け持つ事が報告され、秋吉台を企画したい旨が案内された。

【感想】主催の岡山県担当者は、「今後もこの合同研修会が永く続けられる様、お金を掛けない事に心掛けた」との事で、工夫を凝らしたおもてなしの中、意見交換や親睦を深める事が出来、充実した研修会だった。来年度は、山口県が受けて下さる事になった。



7. 岳連短信

1. 寄贈御礼

三原山の会『筆影』No. 463 (10月号)

福山山岳会『会報』H30.10月号

2. 豪雨災害関連

このたびの西日本豪雨災害で被災された本連盟関係者(竹原山岳会会員様:家屋全壊・避難中、JAC広島支部会員(呉市安浦町)様:床上浸水)へのお見舞金(8月〜9月岳連行事中に募集)カンパへのご協力ありがとうございました。皆様から寄せられたカンパは近日中に被災者の方へ届ける予定です。

3. 10〜11月の行事案内

10/21 県民ハイキング第6回(通算第25回)鈴ヶ峰〜柚木城山

11/4 山岳・スポーツクライミングセミナー(後述)

11/16 高体連登山部安全登山講習会

4. 『山岳・スポーツクライミングセミナー』の案内

昨年まで『山岳・辺境文化セミナー』として毎年秋に開催していた行事ですが、連盟の名称変更もあり、今年からは『山岳・スポーツクライミングセミナー』として開催します。

記念すべき第1回目は世界のトップクライマーとして活躍してきた平山ユージさん(日本山岳・スポーツクライミング協会副会長)を講師に迎え、11/4(日)14:00〜15:30 西区民文化センターにて開催します。奮ってご参加ください。

参加希望者は10月26日(金)までにFAXまたはメールで事務局へ(参加申込記載事項:氏名・〒・住所・電話・FAX番号またはメールアドレス)

山岳・スポーツクライミングセミナー2018

プロフリークライマー
1998・2000年ワールドカップ総合優勝
平山ユージ 講演会
「新しいクライミングの世界へスポーツクライミングの現状と展望」

11/4
(日) 14:00 開演
13:30 開場 15:30 終演

第2部 お楽しみ抽選会
登山用品や山のカレンダー等多数
ご用意しています!

会費 ¥2,000
高校生 ¥500 中学生以下無料
広島県山岳・スポーツクライミング
連盟会員、個人会員は半額


会場
広島市西区民文化センター

主 催: (一社) 広島県山岳・スポーツ
クライミング連盟
後 援: 広島市
(公財) 広島県体育協会
(公社) 日本山岳・スポーツクライ
ミング協会

特別協賛: (株) (一社) 山形スポーツ
アミューズメントサービス (株)
びんごん(有) (株) 山形銀行 (株)
協 賛: (株) アンダー、大塚製薬 (株)
広島市立研究所

お問合せ (一社) 広島県山岳・
スポーツクライミング連盟
(082) 296-5597 (月〜金 12〜17時)

平山 ユージ プロフィール
プロフリークライマー。1983 (昭和 53) 年生まれ。東京都立航空
工業高等学校入学後の 15 歳からクライミングを始めると短期間
で国内を制し、日本国内の難関ルートを次々に踏登。高等学校時、
既に日本のトップクライマーの仲間入りを果たす。17 歳でアメリカ
合衆国へ渡り、半年間フリークライミングのトレーニングを積んだ。
その後、19 歳の時に、単身フリークライミングの本場ヨーロッパ
へ渡り、フランス・マルセイユを拠点に数々の国際クライミングコンペに出場し、1998 年
のフランクフルトワールドカップ優勝をはじめ、上位入賞の好成績を挙げ、
1999 年、日本人初のワールドカップ総合優勝、2000 年に 1 度目の総合優勝をはじめ、世
界各国のトップレベルの登場で、驚異的な実力を示す。2017 年からは、日本山岳・スポー
ツクライミング協会の副会長に就任した。



編集部より

○この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行しています。岳連行事・山の情報・行事参加の感想など気軽にお寄せください。寄稿の場合は所属、役職を記入下さい。編集の都合で一部手直しすることがあります。ご了承ください。

○会員団体で会報発行されたら岳連事務局まで恵送下さい。随時紹介します。

○この会報はメール配信しています。配信ご希望の方は岳連事務局までメールアドレスをお知らせ下さい。